



けやき

令和2年度 学校だより (1月号)

令和3年1月6日 (水)

桶川市立桶川東小学校

学校教育目標 未来へはばたけ けやきっ子 あかるく かしこく たくましく

在籍児童数 1年:133名、2年:139名、3年:126名、4年:137名、5年:140名、6年:114名、ひまわり6名、合計:795名

『あとみよそわか』

校長 小林 松司

あけましておめでとうございます。皆様方には、夢と希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、本校の教育活動に地域や保護者の皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年もよろしくお願ひいたします。

さて、「あとみよそわか」という言葉をご存知でしょうか。

これは、作家 幸田文 (Kouda Aya) の「父、こんなこと」という随筆集の中に出てくる言葉です。

幸田文は、作家 幸田露伴の娘です。「あとみよそわか」は、文が娘時代に、父親から掃除の仕方について厳しく教えられたことをつづった随筆に書かれています。

父親からの厳しい言葉に耐えて、やっと掃き掃除を終えてホッとしている文に父 幸田露伴が次のように言葉をかけます。「あとみよそわか」「もういいと思ってからも、もう一度よく呪文を唱えて見るんだ」

「あとみよそわか」は、漢字では「跡見よ。薩婆可。」と書けるそうです。「跡見よ」は文字通りの言葉、「薩婆可」は梵語、古代インドの言葉で「成就、成し遂げる」といった意味の言葉です。

掃除をした後に、きちんとできているか、もう一度見て確認しなさい、ということです。

掃除だけのことではありません。「靴を脱いだ後、きちんと揃えていますか」「開けた扉は閉めていますか」「使ったものは、元に戻していますか」・・・

「あとみよそわか、あとみよそわか」・・・呪文を唱えて、もう一度、振り返ってみなさい。それが物事を成就する道ですよ、ということです。

また、この言葉は、一つ一つのこと、納得がいくように心を込めて行っているかを戒める、深い意味合いのある言葉とも言われています。

いよいよ、3学期となり、学校はまとめの時期となります。「あとみよそわか」と、一つ一つのこと、心を込め、多くの事が成就するようにしっかりと行ってまいります。

～本校は、時差登校を行っています～

本校では、登校時の昇降口での密集を避けるため、全校児童をA、Bの2グループに分けて時差登校を行っています。1週間おきに、通学班の集合時刻が「通常通り」と「10分遅れ」に変わります。地域の皆様にはご理解をお願いします。

地区わけは次のとおりです。

Aグループ・・・末広1, 2, 3丁目、坂田東1, 2丁目

Bグループ・・・その他の地区 (末広3丁目の一部が入ります)